

製品名: CK7 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80821**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	51kDa

抗原情報

遺伝子名	CK7
別名	KRT7; cytokeratin 7
遺伝子 ID	3855.0
SwissProt ID	P08729
免疫原	大腸菌で発現したヒト CK7 の精製された組み換え断片。

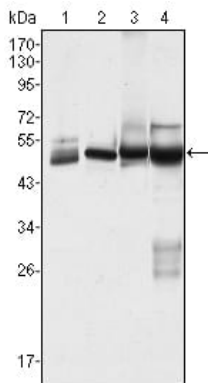
背景

CK7 (ケラチン、タイプ II 細胞骨格 7) は、ヒトにおいて KRT7 遺伝子によってコードされるタンパク質です。CK7 はケラチンファミリーに属し、内臓腔の内層を覆う単純上皮、腺管、血管に特異的に発現します。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ケ

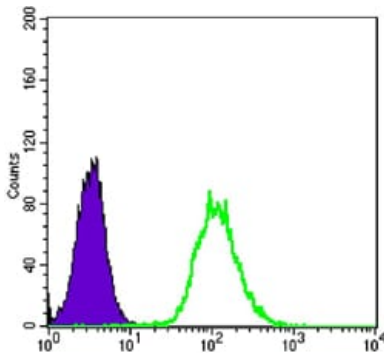
ラチン遺伝子ファミリーに属します。タイプIIサイトケラチンは、塩基性または中性タンパク質から構成され、これらは単純上皮組織および重層上皮組織の分化過程において共発現する異型ケラチン鎖の対として配列します。このタイプIIサイトケラチンは、内臓腔の内層を覆う単純上皮、腺管、血管に特異的に発現します。タイプIIサイトケラチンをコードする遺伝子は、染色体12q12-q13の領域に密集しています。選択的スプライシングによって複数の転写バリエーションが生じる可能性がありますが、すべてのバリエーションが完全に解明されているわけではありません。

研究分野

画像データ



HeLa (1)、MCF-7 (2)、A431 (3)、A549 (4) 細胞溶解物に対するCK7 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



抗CK7 mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。